

# ロータリーに生きよう

1964-65年度の目標

Let Us LIVE ROTARY

RI会長 チャールズ W. ペッテンギル

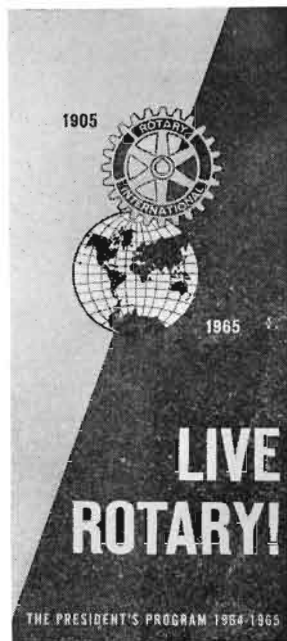
“ロータリーは巨大にして強力な機構である。もし誤った方向に進むならば、時の流れを堰止め全人類を脅やかすものとなるであろう。しかしまた正しい方向に導かれるならば、それは人間味豊かな機構となるであります”

1911年、ロータリアン誌創刊号において、ロータリーの創始者ポール・ハリスはこのようにのべております。

今日、ロータリーはこの概念のモニュメントとして聳えております。これまでロータリーは道を誤ることなく、人種、国境を超えて、人間と人間との関係を一層緊密なものとする機構として存在してきたのであります。

然しながら現在の世界情勢、地域社会、そしてまたロータリーが直面する無数の未解決の問題を視るとき、私たちはロータリーがこの社会において更に一層重要な存在となるよう欲するものであります。

もし私たちが生活全体を通じてロータリーに生き、奉仕の理想があたかもポール・ハリスの人生を決定づけたように、私たちの生活に大きな力を占めるようになれば、私たちはこの課題に応じることができるとあります。



## ロータリーに生きよう

ロータリーを分かち合うことにより

私たちは日常生活、職業関係、地域社会において、そしてまた世界各国民との接触に、ロータリーの原則を適用することによって、ロータリーに生きることが出来るのであります。

ロータリーが60周年を迎えるこの記念すべき年度において、私たちはどのような具体的目標を掲げるべきでありましょうか。

まず第一にそして最も大切なことは、ロータリーを分かち合うこととあります。ロータリーを分かち合うということは、全世界11,700のロータリークラブの一つ一つがその地域社会の典型的横断面を表わしたものであるように努力することを意味します。実業家、医師、弁護士、ジャーナリスト、教育者、などが和気あいあいと一堂に会し、その親睦のなかから建設的活動への意欲が湧き起るようにしたのはポール・ハリスの卓絶した功績であります。

これまでロータリーは数において、内容において着実な成長を遂げてきました。会員数は毎日に増加し、今後も増加を続けるのであります。しかしこの増加は、加速的なペースで行なわれねばなりません。

このため、私は各ロータリークラブが今年度中に少なくとも三つの新しい職業分類に属する人を入会させるよう望むものであります。

絶え間なく変化を続ける今日の地域社会には新たな職業分類が豊富に存在し、これらの職業分類は若い人々をロータリーに加入させる機会を提起しております。

私たちは更に多くの若い人々がロータリーに加わることを希望しており、そしてこれらの若人が指導力を身につける機会をもつよう、望むものであります。

もう一つ諸君に考慮していただきたいことがあります。私たちの街が拡大するにつれ、新たな地域社会が生まれております。この新地域社会にもロータリーを導入すべきであります。更にまた既成の都市においてもロータリーの存在しないところがあります。親愛なる同土諸君、この点について諸君のまわりを見まわしてみてくださいませんか。

もし、すべての地区が三つの新地域社会にロータリーを導入したとすれば、今年度はロータリー史上空前の発展の年となるでございましょう。

大部分の地区にとって、この3クラブ新設の目標は決して過大なものではないと確信いたしますが、ある少数の地区にとってはこの目標の達成は無理なことかも知れません。しかし私はロータリーのもつ重大な意義にかんがみ敢えてこれを本年度の主目標の一つとして掲げるものであります。

“各クラブは新会員3名、各地区は3クラブ新設”今年度はこれを合言葉にロータリーを分ち合い、ロータリーに生きようではありませんか。

### ロータリーに生きよう

あらゆる職業関係において

労資関係、同業者関係の改善および職業組合などに加入することによって、私たちは事業所においてロータリーを生かすことができるのであります。

### ロータリーに生きよう

地域社会の指導的任務を通じて

今日絶え間なく変化するこの世界は、私たちに新たな奉仕の機会を提起しております。したがって私は各クラブが、その地域社会において最も緊要としている問題を決定し、全精力をあげてそれと取組まれるよう望むものであります。

このロータリー60周年にあたって、奉仕を積極的かつ効果的に行なうことは、創始者ポール・ハリスに対する何よりの饞けとなるでしょう。

それ故“ポール・ハリス記念事業”と銘打って地域社会の最も緊要とする問題と取組む企画を持つようではありませんか。

### ロータリーに生きよう

国際親善を通じて

カール・ミラー直前会長の創始した国際交換計画のおかげで、ロータリーは国際奉仕の分野において一段と発展を遂げております。新年度はこの交換計画が全面的に効果を発揮する初年度であります。どうぞ諸君、その成果を最大限に刈りとりようではありませんか。交換地区、交換クラブとの接触を意義あるものとしようではありませんか。

毎週125ヵ国、11,700の地域社会において55万名の会員が会合している状況をしばし心に描いてみてくださいませんか。全世界のどこに、このように規則正しく、確固たる共通の目的をもって会合している団体があるでしょうか。

いまや私たちは、この団体のもつ膨大な潜在的力を認識し、無限の可能性を信じてはじめるに至っております。

この時にあたって、私たちは“ロータリーに生きよう”を本年度の目標として掲げようではありませんか。

最大限にロータリーに生き、そして全人類が平和と調和のうちに暮していける日の来るのを早めようではありませんか。